

# 「富富富」栽培特報

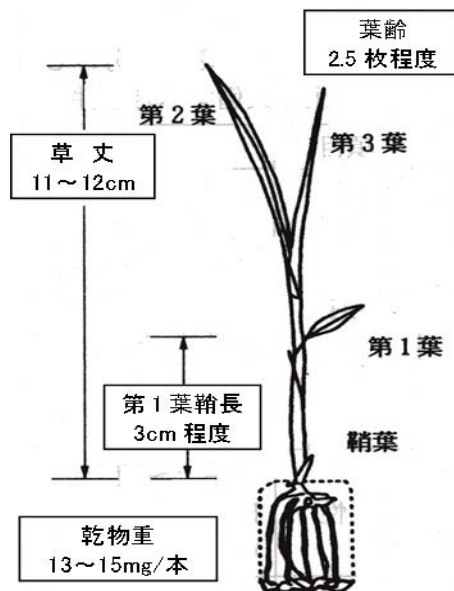
JA うおづ「富富富」ブランド化推進協議会

流通基準を遵守し、高品質で美味しい「富富富」ブランドを確立しよう。

- **流通基準**（これを満たすものを「富富富」のロゴパッケージで販売）
  - ◎検査等級：1等
  - ◎化学合成農薬成分の使用回数：12以内
- **目標値**
  - ・玄米水分：14.5%～15.0%
  - ・玄米タンパク含有率：6.4%以下（水分15%換算値）

## 1 育苗 ～健全な苗づくり～

- ・育苗管理は他の品種と同じですが、4月下旬以降は気温が上昇し、苗が長くなるので、搬出直後から換気しましょう。元々草丈の短い品種なので無理に伸ばすと軟弱苗となります。
- ・葉齢はコシヒカリと同程度、草丈・第1葉鞘長はコシヒカリの9割程度と、やや小柄な苗が目標です。



## 2 苗箱施薬剤の散布 ～苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布～

- ・は種時覆土前～移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

フェルテラ箱粒剤（1成分）

※害虫防除のみで、葉いもちの薬剤は含んでいません。

## 3 基肥 ～適正な基肥量を施用する～

- ・基肥窒素量は収量レベル540kg/10aのコシヒカリ栽培時の2割減を徹底する。

施肥体系	肥料名	施用量の目安
一発体系	富富富専用一発	24～28kg/10a（側条）
分施体系	基肥206	24～28kg/10a（側条）

※基準となるコシヒカリの施肥量を倒伏回避のため減肥している場合は基肥不足が懸念されるので、地域慣行量を基準とした2割減にする。

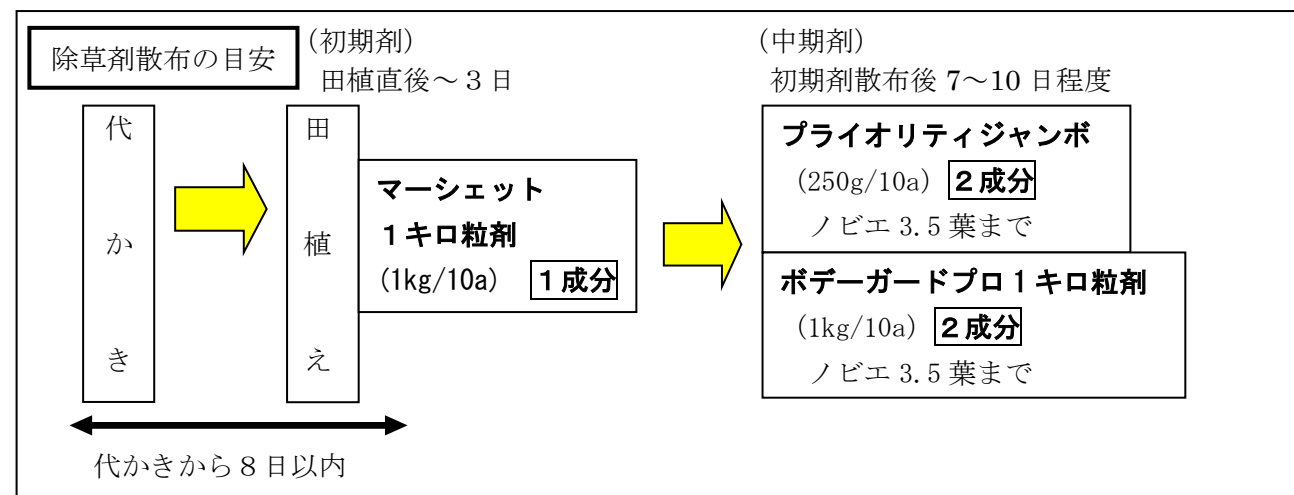
目指せ「富富富」のブランド確立と収量・品質の確保！

## 4 田植え ～適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底～

- ・5月15日を中心とした田植えを行いましょう。（5月6日～20日まで）  
※但し、老化苗となりそうな場合は、田植日を繰り上げて対応してください。
- ・栽植株数は坪当たり70株を基本としましょう。
- ・植付深度3cm、植付本数3～4本/株を遵守し、初期茎数の確保に努めましょう。

## 5 除草剤の散布 ～使用方法を厳守し、適期に散布～

- ・はじめて「富富富」を作付するほ場では、異品種の漏生苗の抜き取り作業を軽減するため、マーシエット1キロ粒剤を使用しましょう。
- ・散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにします。



※初期茎数確保に影響するため、田植同時除草剤は極力使用を控えましょう。田植え同時処理した場合は、直ちに入水しましょう。

## 6 水管理 ～適切な水管理を実施～

- ・田植後の2～3日間はやや深水とし、その後は浅水管理で分けつの発生を促しましょう。
- ・富富富は草丈がコシヒカリに比べ短く、深水の場合、苗が水没、徒長するとともに初期分けつの発生が抑制されます。田面の均平に努めるとともに、初期の水管理には留意しましょう。

## 7 栽培・出荷における留意事項 ～必須要件をクリアして出荷～

- ・栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。

※「富富富」の基本防除体系以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員に相談してください。